東広島・安芸バイパスの建設促進を求める意見書

道路は，国民生活や経済・社会活動を支える最も重要なインフラであり，その整備は全国民が長年にわたり熱望してきているところである。

本町においては，国道２号の朝夕の慢性的な渋滞は，町民生活のみならず産業活動にも重大な支障を及ぼしている。

また，瀬野川沿いのこの区間は，道路幅員が狭く，カーブや勾配も急で交通事故が発生し，大雨や積雪により交通が麻痺する危険性が高い。

ところが，事故や災害によって通行止めになっても，これに替わる迂回路がないのが現状である。

こうした問題を解決するために，東広島市八本松町から本町に至る延長１７．３キロメートルの東広島・安芸バイパスが計画された。

海田ランプ及び中野ＩＣから海田東ＩＣの区間については，供用を開始しているものの，この２点を結ぶ海田東ＩＣから海田西ＩＣの区間の高架部は未整備の状態となっている。

この結果，国道２号から平面部の県道矢野海田線へ大型車両等が流れてきており，交通量が大幅に増加している。道路沿線には，小学校２校，中学校１校があり，通学路として児童・生徒が県道矢野海田線を横断しており，歩行者の安全の確保が喫緊の課題となっている。

また，将来にわたり，自主的・自立的に個性ある地域づくりを展開していくためには，地域内外の道路網の整備は極めて重要な課題であり，周辺市町地域との広域連携を支える東広島・安芸バイパスの整備が極めて重要となっている。

以上のことから，東広島・安芸バイパスの道路整備の推進が強力に図られるよう，強く求める。

以上，地方自治法第９９条の規定により，意見書を提出する。

平成２３年９月７日

海　田　町　議　会